

# 平成28（2016）年度 予算要求状況について

## ◎予算要求額

### 1. 要求総額

歳入	404億1,600万円	△1.2%（前年度当初予算比）
歳出	427億円	+4.3%（前年度当初予算比）
財源不足額	22億8,400万円	△6億3,400万円（前年度当初要求時比）

歳入のうち、基幹である市税は、固定資産税（家屋）や固定資産税（償却資産）の増収要因がある一方、個人所得割や法人税割の減収要因もあり、△500万円（△0.1%）の減額要求です。消費税増税に伴う地方消費税交付金の伸びや、市税の減収等による地方交付税の伸びを見込んだものの、歳入予算は404億1,600万円、△5億500万円（△1.2%）の減額要求となっています。

歳出については、特別会計への繰出金及び生活保護・児童・医療・介護における給付費などの社会保障関係費の伸びを中心に、公共施設の更新等の需要の増加もあり、歳出予算は427億円、17億7,900万円（4.3%）の増額要求です。

これらにより、要求段階での財源不足額は22億8,400万円（前年度当初要求時比6億3,400万円の縮小）です。今後の予算編成過程でこの収支ギャップを解消していきます。

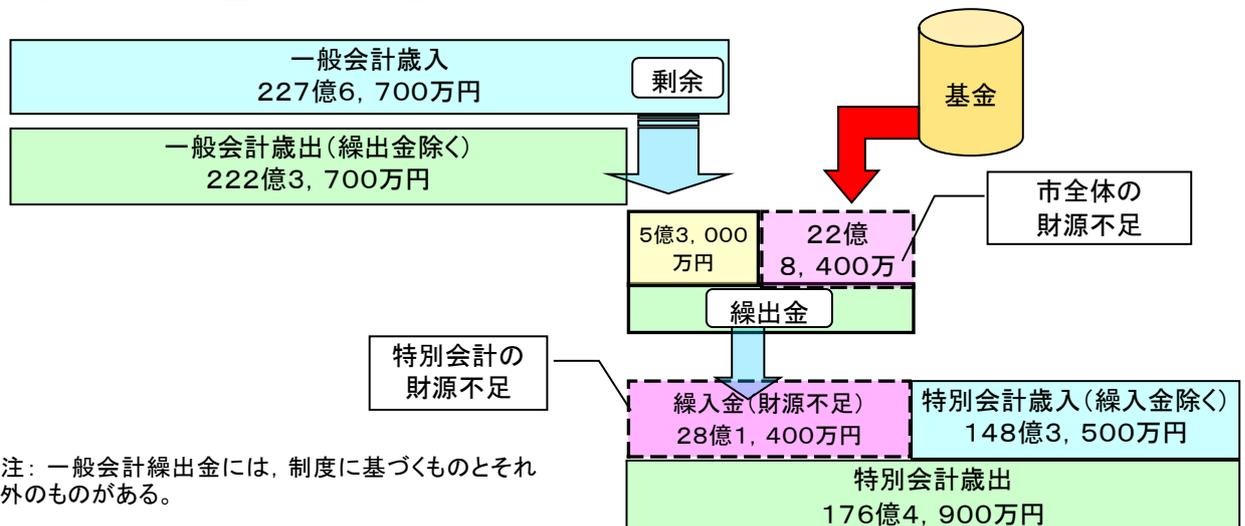
### 2. 会計別要求状況

（単位：千円）

会計名	平成28年度要求額		平成27年度 当初予算額	比較		増減率(%)	
	歳入	歳出		歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計	22,766,555	25,050,516	23,716,000	△ 949,445	1,334,516	△ 4.0	5.6
国民健康保険事業	9,175,955	9,175,955	9,079,000	96,955	96,955	1.1	1.1
公共下水道事業	2,307,122	2,307,122	2,220,000	87,122	87,122	3.9	3.9
農業集落排水事業	65,865	65,865	61,900	3,965	3,965	6.4	6.4
介護保険事業	4,844,758	4,844,758	4,670,000	174,758	174,758	3.7	3.7
障がい児支援サービス事業	37,940	37,940	36,400	1,540	1,540	4.2	4.2
後期高齢者医療事業	1,192,590	1,192,590	1,115,500	77,090	77,090	6.9	6.9
介護サービス事業	24,811	24,811	22,500	2,311	2,311	10.3	10.3
特別会計合計	17,649,041	17,649,041	17,205,300	443,741	443,741	2.6	2.6
総計	40,415,596	42,699,557	40,921,300	△ 505,704	1,778,257	△ 1.2	4.3

※注：各特別会計の収支ギャップ(赤字)は、一般会計からの繰入金で調整。

### ○会計間の収支調整額（要求段階）



※注：一般会計繰出金には、制度に基づくものとそれ以外のものがある。

◎会計間の収支ギャップ調整の仕組み

1. 会計

区分	一般会計(繰出前)		特別会計(繰入前)	
歳入	227億6,700万円	+3.5%	148億3,500万円	+2.3%
歳出	222億3,700万円	+1.3%	176億4,900万円	+1.1%
財源不足額	+5億3,000万円		△28億1,400万円	

※注:財源不足欄の+は、黒字。増減率は、前年度当初要求時比。

2. 特別会計繰入金要求状況(一般会計による補てん必要額)

(単位:千円)

会計名	平成28年度 要求額	平成27年度 当初予算額	比較	増減率 (%)
国民健康保険事業	917,779	739,915	177,864	24.0
公共下水道事業	415,009	354,936	60,073	16.9
農業集落排水事業	44,084	40,610	3,474	8.6
介護保険事業	717,384	688,512	28,872	4.2
障がい児支援サービス事業	25,244	25,572	△328	△1.3
後期高齢者医療事業	688,508	641,794	46,714	7.3
介護サービス事業	5,736	3,612	2,124	58.8
合計	2,813,744	2,494,951	318,793	12.8

◎今後の予算編成作業

予算要求段階での財源不足額は、総額22億8,400万円です。要求内容を精査し、事業効果・緊急性などを勘案した事業の厳選等によって歳出予算を削減するとともに、徴収率向上等による一般財源その他歳入を確保して、財源不足額の解消に最大限努力します。

なお、平成28年度政府予算案が未定のため、予算要求はおおむね現行制度に基づくものです。最新情報の収集に努め、今後の予算編成過程で弾力的に対応します。

また、当市の最上位計画である「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」に掲げた目標の実現に向けて、「主要事業」として位置付けられた事業については優先的に財源を配分し、その取組を確実に推進します。

【ふるさと龍ヶ崎戦略プランにおける重点戦略】

1. 協働のまちづくりと地域力のアップ
2. 若者・子育て世代の定住環境の創出
3. まちの活性化と知名度アップ
4. 安心と住みよさが実感できる生活環境づくり

